

変えよう！
ニッポンの
家づくり

新建ハウジング

▲THE SHINKEN HOUSING

2023
12|20
Vol.986

2面	木造施設	京都府内産材で木造施設
4-6面	工務店未来会議	“業界賢人”が示す、未来の解
8面	「トラブル事例」	2023年の総括「『うちは大丈夫』は本当？」
16面	エコハウス	土壁の蓄熱効果で空調を最小限に

24換気は
sumiko
澄家



NEW MAHBEX

新築戸建ての7割超で 防水に不具合発覚!

設計・施工の属人性も影響か!?

個人向けのホームインスペクションを行うさくら事務所(東京都渋谷区)が実施した新築戸建て住宅の工事チェックにより、例年7割超の現場で防水層の不具合が発覚していた。同社執行役員・プロホームインスペクターの田村啓さんは、防水の明確な公的基準がないことに加え「現場監督や職人の、雨漏りに対する意識の差」も関連しているとする。



外壁平部で防水紙が破れている。建物の側面や裏側など目につきにくいところに多い。「職人は気づくかもしれないが、そのままになっている可能性もある」(田村さん)

2022年は81.3%の現場で不具合が発覚。直近では19年で83.9%、20年78.1%、21年85.5%と80%前後で推移して



バルコニーの接続部の防水部材の細部の防水テープが下になっており、水が入ってしまう可能性があります。修正